

平成23年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成23年2月8日

上場会社名 KYB株式会社（カヤバ工業） 上場取引所 東
 コード番号 7242 URL <http://www.kyb.co.jp>
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）臼井 政夫
 問合せ先責任者 （役職名）経理本部財務部長 （氏名）荒川 均 （TEL） 03-3435-3541
 四半期報告書提出予定日 平成23年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・無

（百万円未満切捨て）

1. 平成23年3月期第3四半期の連結業績（平成22年4月1日～平成22年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|---------|-------|--------|-------|--------|-------|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年3月期第3四半期 | 237,664 | 33.3 | 19,689 | — | 18,446 | 861.4 | 12,968 | — |
| 22年3月期第3四半期 | 178,299 | △34.8 | 1,266 | △77.7 | 1,918 | △48.1 | △16 | — |

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|-------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 59.24 | — |
| 22年3月期第3四半期 | △0.08 | — |

（2）連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-------------|---------|--------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 23年3月期第3四半期 | 280,257 | 85,709 | 29.7 | 376.41 |
| 22年3月期 | 269,361 | 78,489 | 27.3 | 336.55 |

（参考）自己資本 23年3月期第3四半期 83,225百万円 22年3月期 73,572百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 22年3月期 | — | 0.00 | — | 2.50 | 2.50 |
| 23年3月期 | — | 4.00 | — | — | — |
| 23年3月期（予想） | — | — | — | 4.00 | 8.00 |

（注）当四半期における配当予想の修正有無 : 有・無

3. 平成23年3月期の連結業績予想（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|---------|------|--------|-------|--------|-------|--------|---|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 319,000 | 26.6 | 23,200 | 495.5 | 22,100 | 299.6 | 15,000 | — | 67.84 |

（注）当四半期における業績予想の修正有無 : 有・無

4. その他（詳細は、[添付資料] P. 3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 有・無

新規 1 社（社名）凱迓必(中国)投資有限公司 除外 — 社

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有・無

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有・無

② ①以外の変更 : 有・無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

| | | | |
|----------|--------------|----------|--------------|
| 23年3月期3Q | 222,984,315株 | 22年3月期 | 222,984,315株 |
| 23年3月期3Q | 1,882,297株 | 22年3月期 | 4,373,830株 |
| 23年3月期3Q | 218,912,532株 | 22年3月期3Q | 218,617,875株 |

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する説明

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の情報に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|---|
| 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 連結経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 連結財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 連結業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. その他の情報 | 3 |
| (1) 重要な子会社の異動の概要 | 3 |
| (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 | 3 |
| (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 | 3 |
| 3. 四半期連結財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 | 7 |
| (4) 継続企業の前提に関する注記 | 9 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 9 |

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジア新興国向けの輸出にも支えられ企業収益に改善がみられるものの、円高・デフレの長期化、個人消費の低迷および雇用情勢の悪化等、依然として厳しい状況が続いております。また、海外経済も欧米の景気停滞や新興国における景気拡大鈍化の懸念から先行きへの不透明感が強まっております。

このような環境のもと、当社グループの主要な需要先である自動車業界は、四輪車の生産実績がエコカー補助金制度の打ち切りの影響から10月より3ヶ月連続で前年同月を下回ったものの、上半期が堅調に推移したことにより、9ヶ月累計で前第3四半期連結累計期間と比べ12.0%の増加となりました。また、同じく主要な需要先である建設機械業界は、中国向けを主とした旺盛な需要により前連結会計年度からの好調を維持し、9ヶ月累計の出荷高は前第3四半期連結累計期間と比べ70.2%の増加となりました。

当社グループの売上高につきましては、建設機械向け製品が大幅な需要拡大を受けて好調を維持し、また自動車関連製品も順調に推移したことにより、2,376億円と前第3四半期連結累計期間に比べ593億円の増収となりました。損益につきましては、需要拡大による操業度の向上が奏功したことに加え、グループ全社を挙げての総原価低減活動の継続推進により、営業利益が前第3四半期連結累計期間の12億66百万円から196億89百万円と大幅な増益となりました。四半期純損益につきましても前第3四半期連結累計期間の16百万円の損失から129億68百万円の利益へ転じております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

財政状態につきましては、総資産が2,802億円と前連結会計年度末に比べ108億円の増加となりました。流動資産は、たな卸資産や有価証券が減少する一方、販売出荷高の回復に伴い受取手形及び売掛金が増加し、また現金及び預金や一時的な手元資金運用である短期貸付金が増加したことにより、209億円増加の1,748億円となりました。固定資産は、設備投資の抑制を図ったことにより有形固定資産が減少し、100億円減少の1,054億円となりました。

負債は、借入金残高が減少しましたが、生産高の回復に伴い支払手形及び買掛金が増加したことにより、36億円増加の1,945億円となりました。

純資産は、為替換算調整勘定や少数株主持分が減少したものの、四半期純利益により利益剰余金が増加し、72億円増加の857億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

通期（平成22年4月1日から平成23年3月31日まで）の連結業績予想につきましては、自動車関連が急激な需要減と円高影響により今後更に厳しい状況が想定されますが、建設機械関連が中国を中心とした高需要により引き続き堅調に推移することが見込まれるため、前回（平成22年11月8日）発表の通期連結業績予想を以下のとおり修正いたしました。

平成23年3月期通期連結業績予想数値の修正

（平成22年4月1日～平成23年3月31日）

（百万円）

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 |
|---------------------------|---------|--------|--------|--------|
| 前回発表予想（A） （平成22年11月8日） | 318,000 | 21,300 | 20,000 | 13,600 |
| 今回修正予想（B） | 319,000 | 23,200 | 22,100 | 15,000 |
| 増減額（B－A） | 1,000 | 1,900 | 2,100 | 1,400 |
| 増減率（％） | 0.3 | 8.9 | 10.5 | 10.3 |
| （ご参考） 前期実績 （平成22年3月期） | 252,020 | 3,896 | 5,530 | 661 |

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

当第3四半期連結会計期間において、凱途必(中国)投資有限公司を新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、一部の製品以外は実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

また、たな卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

[会計基準の改正に伴う変更]

(資産除去債務に関する会計基準の適用)

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益はそれぞれ10百万円減少し、税金等調整前四半期純利益は176百万円減少しております。また、当会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は209百万円であります。

(「持分法に関する会計基準」及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」の適用)

第1四半期連結会計期間より、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年3月10日公表分)及び「持分法適用関連会社の会計処理に関する当面の取扱い」(実務対応報告第24号 平成20年3月10日)を適用しております。

これによる経常利益および税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

(企業結合に関する会計基準等の適用)

第2四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成20年12月26日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)、「「研究開発費等に係る会計基準」の一部改正」(企業会計基準第23号 平成20年12月26日)、「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成20年12月26日)、「持分法に関する会計基準」(企業会計基準第16号 平成20年12月26日公表分)及び「企業結合会計基準及び事業分離等会計基準に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第10号 平成20年12月26日)を適用しております。

[表示方法の変更]

(四半期連結損益計算書)

「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|---------------|--------------------------------|--|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 44,116 | 34,571 |
| 受取手形及び売掛金 | 81,655 | 69,303 |
| 有価証券 | — | 5,000 |
| 製品 | 14,161 | 15,141 |
| 仕掛品 | 13,102 | 13,024 |
| 原材料及び貯蔵品 | 7,829 | 8,373 |
| 繰延税金資産 | 2,746 | 3,553 |
| 短期貸付金 | 6,060 | 140 |
| その他 | 5,574 | 5,279 |
| 貸倒引当金 | △423 | △523 |
| 流動資産合計 | 174,824 | 153,864 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物（純額） | 23,749 | 25,383 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 36,472 | 42,835 |
| 土地 | 22,577 | 22,601 |
| リース資産（純額） | 1,673 | 1,889 |
| 建設仮勘定 | 2,103 | 1,427 |
| その他（純額） | 2,428 | 2,863 |
| 有形固定資産合計 | 89,006 | 97,000 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 25 | 50 |
| ソフトウェア | 87 | 106 |
| その他 | 1,120 | 874 |
| 無形固定資産合計 | 1,233 | 1,031 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 10,355 | 11,101 |
| 繰延税金資産 | 3,063 | 4,585 |
| その他 | 1,815 | 2,487 |
| 貸倒引当金 | △41 | △710 |
| 投資その他の資産合計 | 15,192 | 17,464 |
| 固定資産合計 | 105,432 | 115,496 |
| 資産合計 | 280,257 | 269,361 |

(単位：百万円)

| | 当第3四半期連結会計期間末 (平成22年12月31日) | 前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日) |
|--------------|--------------------------------|--|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 68,752 | 54,963 |
| 短期借入金 | 32,404 | 29,072 |
| リース債務 | 282 | 266 |
| 未払金 | 8,245 | 5,091 |
| 未払法人税等 | 2,210 | 888 |
| 設備関係支払手形 | 281 | 594 |
| 製品保証引当金 | 3,150 | 3,974 |
| 賞与引当金 | 1,869 | — |
| 役員賞与引当金 | 41 | 52 |
| 事業構造改善引当金 | — | 119 |
| その他 | 7,070 | 10,138 |
| 流動負債合計 | 124,308 | 105,163 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 51,748 | 66,821 |
| リース債務 | 1,408 | 1,644 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 4,512 | 4,512 |
| 退職給付引当金 | 10,732 | 11,033 |
| 役員退職慰労引当金 | 660 | 684 |
| 環境対策引当金 | 222 | 207 |
| 資産除去債務 | 208 | — |
| その他 | 746 | 803 |
| 固定負債合計 | 70,239 | 85,708 |
| 負債合計 | 194,547 | 190,871 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 19,113 | 19,113 |
| 資本剰余金 | 21,008 | 20,256 |
| 利益剰余金 | 45,254 | 33,620 |
| 自己株式 | △515 | △990 |
| 株主資本合計 | 84,862 | 71,999 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,446 | 1,490 |
| 繰延ヘッジ損益 | — | 45 |
| 土地再評価差額金 | 4,760 | 4,760 |
| 為替換算調整勘定 | △7,844 | △4,724 |
| 評価・換算差額等合計 | △1,637 | 1,572 |
| 少数株主持分 | 2,484 | 4,917 |
| 純資産合計 | 85,709 | 78,489 |
| 負債純資産合計 | 280,257 | 269,361 |

(2) 四半期連結損益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 売上高 | 178,299 | 237,664 |
| 売上原価 | 151,843 | 189,882 |
| 売上総利益 | 26,455 | 47,782 |
| 販売費及び一般管理費 | 25,189 | 28,093 |
| 営業利益 | 1,266 | 19,689 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 138 | 182 |
| 受取配当金 | 291 | 235 |
| 為替差益 | 68 | — |
| 受取技術料 | 64 | 127 |
| 持分法による投資利益 | 558 | 1,011 |
| 助成金収入 | 792 | 25 |
| その他 | 525 | 633 |
| 営業外収益合計 | 2,439 | 2,216 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 1,495 | 1,344 |
| 為替差損 | — | 1,888 |
| その他 | 292 | 225 |
| 営業外費用合計 | 1,787 | 3,458 |
| 経常利益 | 1,918 | 18,446 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 24 | 25 |
| 負ののれん発生益 | — | 718 |
| 貸倒引当金戻入額 | 21 | 33 |
| 保険解約返戻金 | 173 | — |
| 関係会社株式売却益 | — | 410 |
| その他 | — | 94 |
| 特別利益合計 | 219 | 1,283 |
| 特別損失 | | |
| 過年度損益修正損 | 366 | — |
| 固定資産処分損 | 352 | 275 |
| 減損損失 | 338 | 238 |
| 投資有価証券評価損 | 11 | 0 |
| 特別退職金 | 504 | 154 |
| 退職給付費用 | 293 | — |
| 事業構造改善費用 | 373 | 2 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 165 |
| その他 | 152 | 16 |
| 特別損失合計 | 2,393 | 852 |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △255 | 18,876 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 615 | 2,942 |
| 法人税等調整額 | △637 | 2,452 |
| 法人税等合計 | △22 | 5,395 |
| 少数株主損益調整前四半期純利益 | — | 13,481 |
| 少数株主利益又は少数株主損失(△) | △216 | 513 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △16 | 12,968 |

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-------------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △255 | 18,876 |
| 減価償却費 | 11,309 | 9,943 |
| 固定資産売却損益(△は益) | △24 | △25 |
| 固定資産処分損益(△は益) | 352 | 275 |
| 投資有価証券売却及び評価損益(△は益) | 11 | 0 |
| 関係会社株式売却損益(△は益) | — | △410 |
| 減損損失 | 338 | 238 |
| のれん償却額 | 29 | 25 |
| 負ののれん償却額 | △28 | △28 |
| 負ののれん発生益 | — | △718 |
| 貸倒引当金の増減額(△は減少) | 221 | △55 |
| 退職給付引当金の増減額(△は減少) | 41 | △241 |
| 製品保証引当金の増減額(△は減少) | △326 | △696 |
| 賞与引当金の増減額(△は減少) | 1,385 | 1,869 |
| 役員賞与引当金の増減額(△は減少) | △20 | △11 |
| 役員退職慰労引当金の増減額(△は減少) | △188 | △23 |
| 環境対策引当金の増減額(△は減少) | — | 15 |
| 事業構造改善引当金の増減額(△は減少) | — | △119 |
| 資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額 | — | 165 |
| 受取利息及び受取配当金 | △430 | △418 |
| 保険解約損益(△は益) | △173 | — |
| 支払利息 | 1,495 | 1,344 |
| 持分法による投資損益(△は益) | △558 | △1,011 |
| 売上債権の増減額(△は増加) | △7,039 | △15,210 |
| たな卸資産の増減額(△は増加) | 3,566 | △1,327 |
| 仕入債務の増減額(△は減少) | 4,472 | 16,553 |
| 未払金の増減額(△は減少) | 418 | 3,194 |
| その他 | △763 | △3,698 |
| 小計 | 13,833 | 28,503 |
| 利息及び配当金の受取額 | 377 | 829 |
| 利息の支払額 | △1,492 | △1,297 |
| 法人税等の支払額 | △492 | △1,726 |
| 法人税等の還付額 | 2,774 | 231 |
| 保険金の受取額 | 175 | 41 |
| 補助金の受取額 | — | 179 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 15,175 | 26,760 |

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △986 | △6,679 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,254 | 5,564 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △8,902 | △4,495 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 378 | 155 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △671 | △6 |
| 関係会社株式の取得による支出 | — | △225 |
| 関係会社株式の売却による収入 | — | 1,349 |
| 関係会社出資金の払込による支出 | — | △165 |
| 貸付けによる支出 | △1,140 | △233 |
| 貸付金の回収による収入 | 904 | 630 |
| その他 | △98 | △176 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △9,261 | △4,282 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | △5,218 | △5,830 |
| リース債務の返済による支出 | △120 | △246 |
| 長期借入れによる収入 | 3,291 | 719 |
| 長期借入金の返済による支出 | △2,978 | △4,434 |
| 社債の償還による支出 | △15 | △10 |
| 自己株式の取得による支出 | △2 | △460 |
| 自己株式の売却による収入 | 0 | 0 |
| 配当金の支払額 | — | △1,416 |
| 少数株主への配当金の支払額 | △123 | △141 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △5,167 | △11,821 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | △120 | △1,078 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | 625 | 9,577 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 34,272 | 37,663 |
| 連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額 | — | △19 |
| 現金及び現金同等物の四半期末残高 | 34,898 | 47,222 |

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。